

～ 耐火れんが、耐火モルタル用「取扱説明書」～

この度は弊社の耐火れんが、耐火モルタルをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、はじめて耐火れんが、耐火モルタルを施工される方のために、作業のポイントや安全に施工するための注意事項を記載しています。ご使用前に必ず、お読み下さい。

1. 取扱い上の注意事項

- <安全>**
- ①れんがの切断等加工時に、粉じんを長時間吸い込むと肺などへの傷害が生じることがあります。
取り扱い時には防じんマスクを着用して下さい。
 - ②皮膚についたり、目に入ると肌荒れや炎症が生じることがあります。保護手袋・保護メガネを着用して下さい。万一、受傷された時はただちに洗浄、医師の診断などの処置を受けて下さい。
 - ③耐火れんがCHSK34は5ヶで計18kg、耐火モルタルTMA-Wは15kg入りです。重量をご確認の上、取り扱い時に、腰痛など注意願います。

2. 事前に準備するもの

- <安全保護具>**
- ・防じんマスク：区分DS2、区分RS2マスク（厚生労働省国家規格検定合格マスク）やN95マスク（米国労働安全衛生研究所規格合格マスク）を推奨します。
 - ・保護めがね（保護ゴーグル）
 - ・保護手袋（ゴム手袋）

- <材料>**
- ・耐火れんが「CHSK34」：施工範囲に見合った枚数（形状：65mm×114mm×230mm）
 - ・耐火れんが用モルタル「TMA-W（タイトシールW）」：必要量
⇒<参考> “2mm目地”の場合：耐火れんが1枚当たり「約0.17kg」

<工具・機器>

	れんが積	れんが加工	目地仕上げ	測定・墨出し・遣り方
れんがコテ	○			
プラスチックノミ、木槌	○			
トンカチ		○		
目切り		○		
たがね		○		
両刃		○		
目地コテ			○	
墨つぼ				○
水平器	○			○
さげふり				○
スケール、さしがね、自由がね	○	○		○
水系	○			○
れんが切断機、研磨機		○		

3. 耐火れんが、耐火モルタルの施工時の注意事項

(1)れんが積みするときは、“芋目地”ではなく、構造的に強度が強い“継目地”で施工するようにして下さい。



図1. 芋目地

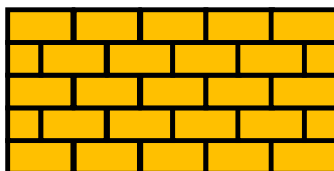


図2. 継目地

(2)耐火モルタルの塗布厚みは、“2mm以下”として下さい。

(3)れんがは縦方向や横方向にひずみを発生させないように、水系や水平器等を使用し垂直・水平に積んで下さい。

(4)耐火モルタルを塗布したれんがを据えたあとは、プラスチックハンマーや木槌で軽くたたいて、目地締めや高さ調整を行って下さい。

☆ 注意！ (5)施工後に水濡れしてしまうとモルタルが流出してしまいます。れんが施工後火入れまでは、水に濡らさないようにご注意下さい。

(6)れんが施工後、モルタルの目地が硬化するまでに気温が5℃以下になる場合は、投光器やストーブなどで凍結させないように加温養生して下さい。

(7)必要に応じて、膨張代をとるようにして下さい。

(8)施工後、高温で使用する際は、50℃/hrを目標に緩やかに昇温して下さい。急激に昇温するとれんがが割れてしまう恐れがあります。

4. その他

■製品のサイズ等、使用用途、常用使用温度について

製品名	サイズ、容量	使用用途	常用使用温度域 (℃)
シャモット質耐火れんが CHSK34	65×114×230mm 5ヶ/セット	耐熱性の必要な炉壁	1000℃程度
耐火モルタル タイトシールW(TMA-W)	15kg缶入り	CHSK34の接着剤	—

- ・ご購入いただきました耐火れんが、耐火モルタルにつきましては、風通しの良い日陰に保管して下さい。
- ・耐火モルタルは、ご購入後1年以内に使用していただくようお願いいたします。
- ・廃棄方法につきましては、関連法規並びにお住まいの自治体の基準に従って下さい。
または許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。

AGCセラミックス株式会社

<http://www.agcc.jp/>